　**ニュースレター　２０２２年７月号**

**１　ご挨拶**

　２０２２年も半年が過ぎ、年後半へと入りました。梅雨も異例の短さで６月に梅雨明けとは？　その影響で各地で水不足が懸念されています。

更には、６月から猛暑日で４０度超えの危険な地域もあるようです。

ここにきて、コロナも増えてきつつあります。

皆様　体調管理に充分な配慮をして、お過ごしいただきますようお願い申し上げます。

**２　インフレとは　＝　お金の価値が目減りする事**

　最近の物価高騰　すごいですね！　物によっては３０％～５０％も値上げになっている物もあります。

皆様　インフレとは物の値段が上がる事　とはご存じですが、反面　お金の価値が目減りする事と直感的に理解できる方は、そう多くないようです。

これは、日本が金銭教育をしてこなかったのが原因です。欧米では幼稚園からゲーム等を使いながら金銭教育をしています。従って社会人になったら長期の積立投資をして財産形成し、悠々自適なシニアライフを送っている人が多くいます。

　私が崇拝している上地ゼミ「３月１４日号」の資料をご覧下さい。

**「先進主要国のインフレ率は、今後２０年程度４％前後で落ち着くだろう」**

とチャールズ・グッドハートは語っています。実はこれが世界の中央銀行政策担当者の間で話題になっているそうです。そしてそれは日本も例外ではないという事です。

**４％のインフレが１０年継続したら　１０年後　お金の価値は３３％減に！**

**２０年継続したら　２０年後　お金の価値は５５％減に！**

インフレによる資産の目減りからお金を守る為には、インフレ以上の運用をしていかないと守る事はできません。

**3　長期で株式投資に勝るものなし**

上地ゼミ６月２０日号　[ジェレミー・シーゲル - 株式投資研究の世界的権威｜Global Financial School (gfs.tokyo)](https://gfs.tokyo/teacher?type=22)　米国のペンシルベニア大学教授　の言葉です

6/20②をご覧下さい。　マーケットが始まった1802年以降　**２２０年間で世界株は70万倍　年率で6.6％**債券3.6%　金0.7%

資料③の　最近６６年間を見て頂くと更に分かりやすいと思います。

この期間で見ても、ブラックマンデーやリーマンショック等　大きな金融危機が起きていますが、数年後には必ず回復して　**６６年間で約１００倍に**なっているという事です。

これはなぜか？　上場企業の場合　利益追求が企業の使命だからです。企業の利益が増えると１株当たりの利益も増えて株価は必然的に上昇します。

結果的にマーケットの上昇につながる訳です。

　さて昨年末以来　マーケットが大きく調整しており不安に思っている方も多いのではないでしょうか？

6/20 ④をご覧ください。　今回の暴落が、どれに分類されるのか？

分類によって、回復に要する期間が大きく異なります。

　上地ゼミ講師は、今回の暴落は「景気後退型」と判断され、回復までの期間は１－２年　どんなに長くても３年と言われています。

　という事は、**今は絶好の仕込みのチャンスであるという事です**

**今後も下がるかもしれませんから、ドルコスト平均法（毎月の定額買付）によって（１年～２年間）　積立投資のチャンスです**

　この１－２年間の仕込みが、５年後　１０年後　大きく花を咲かす　事は歴史が証明しております。

そうする事が、インフレに負けない資産防衛でもあり、人生を豊かに暮らす

知恵でもあります。

多分　年末には政府としても「国民の資産倍増計画」とかの名目で、NISAやiDeCo枠の拡大も実施されるのではないでしょうか？

これは、政府として実施する「国民の資産をインフレから守る」政策でもある訳です。

今後とも、皆様の資産形成に最大限の努力をして参ります。引き続きよろしくお願い申し上げます。

　２０２２年７月１日　代表：岩本　悟